



## ～美しき赤レンガで彩られた坑口～

1900（明治33）年に夕張炭鉱の三番目の斜坑として開坑、1918（大正7）年に天龍坑と改称されました。夕張炭鉱初期の主要坑道でしたが、1938（昭和13）年にガス爆発事故（死者161名）が発生し採炭が中止されました。地表の石炭層に開削された坑口であり、外気を坑内に流入させる入気坑と排気坑が対になって残っていること、赤レンガで装飾された坑口が意匠的に美しいことが特徴です。北炭夕張炭鉱の坑口は川の名前を使用しており、この坑名も天竜川に由来しています。

住所

〒068-0401 夕張市高松6番地1

公開状況

公開休止中（2019年4月に発生した火災のため、現在休止中）

アクセス  
（自動車）

札幌から約64km 約1時間11分  
【道央自動車道 江別東IC降 約57分】

アクセス  
（公共交通機関）

札幌から約2時間  
JR石勝線 新夕張駅降車～夕鉄バス 夕張市石炭博物館降車

問い合わせ

夕張市教育委員会  
電話：0123-52-3166 E-mail：ybrkik@city.yubari.lg.jp